

第2部

人工社会の
発想と技法に慣れる

第1部では、マルチエージェント・シミュレーションを構想してから実行するまでの流れを、`artisoc`を使って一通り学びました。この第2部では、エージェントどうしの相互作用をさせる基本技法を学びます。さまざまな相互作用について、`artisoc`ではどのようなルールで表現するかを説明しましょう。基本技法のレパートリーは、第2部でほぼ全て登場します。

なお、第2部では、第1部で学んだことについては適宜省略して、モデルの作り方を説明します。また、第2部の後ろの方の章では、第1部で学んだ技法だけでなく、第2部の前の方の章で初めて登場する技法も用いるケースがあります。その意味で、第2部も章の順番通りに学んでいくことを勧めます。